



目に見える省エネ効果 廃棄物のリサイクルも

浅口郡里庄町に本社を置く、創業87年の工作機械メーカー、安田工業株式会社。今年2月「おかやま環境フォーラム」で、エコアクション21への取り組み10年表彰を受けました。同社製造部次長の谷村圭介さんにきっかけや成果について聞きました。

「エコアクション21に 取り組まれたきっかけは？」

当社はマシニングセンターという精度の高い工作機械を製造しています。現場の温度変化は製品の精度に影響してしまうので、365日24時間、空調による温度コントロールが必要で、多くのエネルギーを消費します。省エネに取り組みたいと考えていた時にエコアクション21を知り、取り組みを始めました。中小企業でも取り組みやすい具体的な活動で、環境省のお墨付きも活動の拠り所となりました。



リサイクル可能なものを写真付きで掲示し、社員に分かりやすくしました。

「取り組みを始めて、 いかがでしたか？」

環境対策という省エネという印象だったので、エコアクション21の取り組みにより、自社の現状把握ができ、廃棄物の再資源化のウエイトが大きくなりました。それまでも当社ではある程度の分別はできていたのですが、事務用品、プラスチック、樹脂、ゴムなど、どれがリサイクルできるのか社員にはわかりません。分別の参考になるような写真を社内に掲示して呼びかけをしたりしました。

「具体的な成果は？」

新工場の建設にあたっては、高効率の空調設備の導入や断熱材の使用に配慮しました。徹底した温度管理もあって、電気使用量を3割以上削減することができました。一時的に設備投資が必要でしたが、省エネ効果は何年にもわたって続きますからね。エコアクション21の取り組みは省エネ法に基づき、省エネ計画の立案や運用面の改善にも役立っています。また、社員の意識が10年前とは随分違ってきています。新入社員の研修にも必ず環境に関する座学を設けているんですよ。

「10年間続けてこられた 秘訣は何でしょう？」

製造する現場から取り組みを始めたことでしょうか。無理をせず

設備種別	測定値	目標値
設備稼働時	76	103
設備停止時	60	120
待機時	36	72
合計	120	120
合計	292	415

新工場内に使用電気量の実測値を掲示し、社員にエネルギーの使用量を意識してもらっています。

安田工業株式会社

製造部次長

たにむら けいすけ
谷村 圭介 さん



に少しずつ広げ、社内に環境委員もも発足させました。数年前からはこの環境委員会に入社3~5年の若手社員を抜擢し、組織の活性化をはかっています。また、エコアクション21では、審査人が第三者の目で見ると具体的な助言や指導をしてくださる。当社にとっても良い刺激になるんですよ。これからもこの取り組みを続けて更に活動を発展させたいですね。

安田工業株式会社

所在地：〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中1160(本社)
従業員数：300名 認証登録日：2006年3月31日
「最大ではなく最高を目指す」を基本理念に、高精度で高い耐久性を持つマシニングセンターを製造している。

エコアクション21
環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証登録する制度です。

エコアクション21地域事務局
岡山県環境保全事業団
〒701-0212 岡山市南区内尾665-1
Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496
Mail ea21@kankyo.or.jp

お問合せ
ください!!

<http://www.kankyo.or.jp>